

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別、集団の部屋を分けて活動をしています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			余裕を持って職員の配置をしているため規定より職員の数は多いです。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			現在必要としている児童がいないため、バリアフリー化されていないです。必要であれば今後検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よくすごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			業務後の掃除を毎日行っており、清潔で心地よい環境を保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的な会議で全員が参加できるように業務を調整しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートに目を通して改善点を話し合い、改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページに記載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		現在は、第三者による外部評価は受けていません。今後予定しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の業務を調整し、研修に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談等で保護者のニーズ、児童共に聞き取りを行い、支援計画に反映しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントツールを用いて、適切に行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに添って支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画を朝のミーティングで読み上げ、支援内容を確認している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月、療育会議を開催し、職員全員で話し合って決めています。	
	15	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			子どもの興味、関心に合わせた内容を毎月模索しています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別課題に合わせて療育を行っています。		

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員がそろって朝のミーティングで必ず行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りシートを活用し、児童情報を共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			振り返りで音声記録を取り、全員の意見を取り入れた内容で支援改善に努めている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○		今後必要に応じて対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○		今後必要に応じて関係機関と連携し、個別の支援ニーズに対応した支援体制を維持・強化していきます。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今後保護者の要望に応じて開催を検討していきます。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		今後保護者の要望に応じて参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか					
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				今後ペアレントトレーニング等の開催を予定しています。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後ペアレントトレーニング等の開催を予定しています。詳細は改めて周知していきます。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				

保護者への説明責任等	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カード、発話が困難な児童はホワイトボードを活用し、書き出す、読み上げることで会話に繋げています。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後機会があれば地域交流を行っていききたい。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				保護者からの聞き取りをもとに対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				拘束を必要とする児童がおりません。必要であれば保護者に事前に説明し、了解を得ていきます。	